

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてください。笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです。

ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

今号のマイスターは...



調剤課 薬剤師 つのだ 角田 ゆうこさん

マイスターに Q&A

- Q. この職種を選んだきっかけは？**  
**A.** 小学生の頃、祖父の闘病中に親身に寄り添ってケアをしてくれた医療スタッフに感銘を受け、医療の道を目指しました。その中でも病気を治すためには欠かすことのできない薬の専門家として薬剤師を志しました。
- Q. 当院を選んだ理由は？**  
**A.** 地域に密着した急性期医療の病院で勉強したかったからです。さらに、認定薬剤師などの専門的な資格をもつ先輩薬剤師が多く働いていることも魅力でした。
- Q. 今後の目標は？**  
**A.** 患者さんにとって適切な薬物治療を提供できるように、薬や病気の知識を増やして、患者さん、そしてともに働く医療スタッフに頼られる薬剤師になれるよう、日々邁進していきます。
- Q. 趣味は何ですか？**  
**A.** 料理をつくって食べること
- Q. 自分の性格を一言で表すと？**  
**A.** 負けず嫌い



薬剤師の仕事とは

薬剤師は病院、調剤薬局、ドラッグストアなど多くの場所で活躍しています。その中でも病院内の薬剤師は、入院や外来の患者さんの薬が安全に使用されるのをさまざまな面からサポートしています。

現在当院の薬剤師は、43名いますが、医師の処方する薬を調剤する調剤課、薬の在庫を管理する薬品管理課、薬の情報を収集・提供する薬剤情報課、入院中の患者さんの薬が適切に使用されるためのサポートを行う病棟薬剤課の4つの課に分かれています。

また、チーム医療の一員として、それぞれ専門性を持つ薬剤師が質の高い薬物治療を目指して活躍しています。

調剤課の役割とは

私の所属する調剤課は、主に入院や外来の患者さんの内服薬を調剤しています。薬にもさまざまな形、種類があり、それぞれの特徴や飲み合わせなどに注意しなければなりません。患者さんの身体の状態などを把握し、疑問点があれば医師に問い合わせ処方提案を行います。

また、化学療法で使用する抗がん剤や院内製剤の調製も行っています。

私の業務について

主に調剤と監査（処方の確認）を行っています。業務を行う上で、調剤する薬がどんな患者さんにわたっていくのかまで考えるようにしています。また、その患者さんに合わせた適切な薬物治療を提供できるように心がけています。

最近では、私にとって初めての先輩がたくさん入ってきたので、後輩たちの指導にも力を入れています。私自身も薬剤師としての活躍の場が増えるように、業務以外にも勉強に取り組んでいます。

角田さんのある日のスケジュール

8:30	出勤 朝礼 調剤・監査(処方の確認)
12:00	休憩
13:00	調剤・監査
17:30	退勤

Group photo

調剤課の皆さんと  
(下段左が角田さん)

